

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6145 URL <https://www.nittoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048(615)2109  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,363	△4.6	1,972	△9.7	2,105	△7.2	1,509	△2.2
2019年3月期第3四半期	21,338	△4.9	2,183	△30.8	2,267	△28.4	1,544	△30.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,571百万円 ( 65.6%) 2019年3月期第3四半期 948百万円 ( △69.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	83.56	—
2019年3月期第3四半期	85.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,878	29,256	74.8
2019年3月期	38,728	28,227	72.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 29,080百万円 2019年3月期 28,083百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,000	△5.8	3,600	△6.5	3,700	△5.7	2,600	△9.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	18,098,923株	2019年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	31,325株	2019年3月期	31,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	18,067,637株	2019年3月期3Q	18,067,661株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦解消に向けて一部に妥協が計られ始めたものの、大半の国で景気回復の足かせ状態は継続し、設備投資姿勢の慎重さを払拭するには至りませんでした。

SDGsの主要課題である環境対策のキーデバイスとなる、コイルやモータを生産する設備の製造が当社グループの主要事業であり、カスタマーの多くは、そのグローバルサプライヤーです。

近年、デジタル化の進展とともに、未来志向の新技术開発では次々とアイデアが生み出されるようになり、そのアイデアを最適な形にするためには、高度な品質や軽薄短小、微細化が要求され、また、その生産に対しては自動化、高速化といったイノベーション要求が急速に増えています。そのため先進的なデバイスの開発は、アナログの生産技術の革新と一体化することになり、生産設備開発からの革新的なアプローチが「アナデジ」としてのソリューションを生み出すケースが多くなりました。

知識と経験のないところに知恵は生まれず、多種多様な要素技術、工法あるいは材料知識と最新のデジタル技術をすり合わせて生産ラインを開発、構築して提供するビジネスモデルが当社のグローバルニッチトップ戦略の軸です。そして、これを持続的に研鑽するため新規の案件では試行錯誤することもあり、結果として当初想定した利益を下回るケースもありますが、こうした取り組みを重ねて知識と経験をノウハウとして蓄積することにより常に先進的なシステムの開発、提供を図っております。当第3四半期連結会計期間は上述のような開発要素の多い案件が多く、また納期も第4四半期に集中していることもあり、以下のような結果となりました。

売上高は203億63百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は19億72百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は21億5百万円（前年同期比7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億9百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりです。

#### (ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当第3四半期連結累計期間の受注は、自動車分野では、EVの駆動モータの設備需要に慎重姿勢が続いているものの、自動運転、安全走行、利便性のための車載モータの設備需要は堅調に推移しており、また、情報通信分野では、5G基地局の設置は地域によって整備に遅れがあるものの、端末機は各社が販売をはじめています。これらの電子部品の生産設備は、米中貿易摩擦の影響を強く受けておりますが、当第3四半期においては、一部で設備投資が動き出しました。そうした状況下、生産活動については順調に進捗しておりますが、第4四半期を納期とする案件の比率が高く、当期間売上高については、通期業績予想対比で相対的に少なくなり、また利益につきましても、開発要素の多い案件の影響により、当初想定した利益率に届かず、利益進捗率も低くなりました。

これらの結果、全売上高の約95%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売上高は194億20百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益（営業利益）は25億6百万円（前年同期比13.6%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は149億98百万円（前年同期比22.2%減）、売上高は158億91百万円（前年同期比8.4%減）、当第3四半期末の受注残高は129億69百万円（前年同期比30.7%減）となりました。

#### (非接触ICタグ・カード事業)

当第3四半期連結累計期間の受注は、ICカード普及に向けた需要による大量の受注がありました。この受注の生産は、来期まで継続するものです。これらを含め、当第3四半期連結累計期間中では、受注、売上高ともに前年同期比大幅増となりました。

これらの結果、非接触ICタグ・カード事業におきましては、連結売上高は9億42百万円（前年同期比49.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2億67百万円（前年同期24百万円）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は19億47百万円（前年同期比160.4%増）、売上高は9億42百万円（前年同期比49.4%増）、当第3四半期末の受注残高は12億36百万円（前年同期比307.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は前連結会計年度末対比25億30百万円減少し、253億92百万円となりました。これは主として、現金及び預金が5億46百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が29億31百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比26億80百万円増加し、134億85百万円となりました。これは主として、建物及び構築物（純額）が14億32百万円、土地が8億43百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比1億50百万円増加し、388億78百万円となりました。

### (負債)

流動負債は前連結会計年度末対比11億67百万円減少し、89億94百万円となりました。これは主として、電子記録債務が11億98百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比2億88百万円増加し、6億27百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が1億58百万円、その他に含まれるリース債務が91百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比8億79百万円減少し、96億21百万円となりました。

### (純資産)

純資産計は前連結会計年度末対比10億29百万円増加し、292億56百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、2019年11月7日に公表しました通期業績予想から修正を行っていません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,125,865	10,672,034
受取手形及び売掛金	7,899,694	4,968,210
電子記録債権	1,256,936	1,222,937
有価証券	200,158	200,222
仕掛品	5,944,591	6,062,975
原材料及び貯蔵品	1,418,812	1,313,596
その他	1,114,577	988,435
貸倒引当金	△37,544	△35,465
流動資産合計	27,923,090	25,392,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,413,044	4,845,886
機械装置及び運搬具(純額)	574,135	572,041
土地	1,968,801	2,812,027
その他(純額)	836,752	1,067,258
有形固定資産合計	6,792,733	9,297,212
無形固定資産		
のれん	3,769	—
その他	170,039	166,758
無形固定資産合計	173,808	166,758
投資その他の資産		
投資有価証券	2,850,374	2,919,549
その他	988,308	1,102,190
投資その他の資産合計	3,838,683	4,021,739
固定資産合計	10,805,225	13,485,711
資産合計	38,728,315	38,878,656

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,129,647	2,179,267
電子記録債務	4,420,531	3,221,692
未払法人税等	657,314	57,887
賞与引当金	538,105	350,393
その他	2,415,879	3,184,992
流動負債合計	10,161,478	8,994,234
固定負債		
繰延税金負債	25,317	184,006
退職給付に係る負債	87,291	106,987
その他	226,964	336,659
固定負債合計	339,573	627,653
負債合計	10,501,052	9,621,887
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,535,775	2,535,775
利益剰余金	17,608,874	18,576,658
自己株式	△25,341	△25,507
株主資本合計	27,004,236	27,971,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	594,710	799,318
為替換算調整勘定	460,029	279,721
退職給付に係る調整累計額	24,553	29,894
その他の包括利益累計額合計	1,079,293	1,108,934
非支配株主持分	143,733	175,980
純資産合計	28,227,263	29,256,769
負債純資産合計	38,728,315	38,878,656

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	21,338,312	20,363,479
売上原価	15,867,975	15,059,356
売上総利益	5,470,336	5,304,122
販売費及び一般管理費	3,286,866	3,331,565
営業利益	2,183,469	1,972,557
営業外収益		
受取配当金	40,286	48,339
その他	94,781	97,651
営業外収益合計	135,067	145,991
営業外費用		
債権売却損	7,194	2,853
固定資産除却損	32,487	3,162
減価償却費	3,301	3,008
その他	8,010	4,266
営業外費用合計	50,993	13,290
経常利益	2,267,544	2,105,258
税金等調整前四半期純利益	2,267,544	2,105,258
法人税、住民税及び事業税	581,833	495,993
法人税等調整額	113,771	68,555
法人税等合計	695,605	564,549
四半期純利益	1,571,938	1,540,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,916	30,895
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,544,022	1,509,813



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	1,571,938	1,540,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△517,942	204,607
為替換算調整勘定	△119,104	△179,301
退職給付に係る調整額	13,973	5,341
その他の包括利益合計	△623,073	30,646
四半期包括利益	948,865	1,571,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	922,656	1,539,453
非支配株主に係る四半期包括利益	26,208	31,901

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	20,706,984	631,327	21,338,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,706,984	631,327	21,338,312
セグメント利益	2,902,300	24,194	2,926,494

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,926,494
全社費用(注)	△743,025
四半期連結損益計算書の営業利益	2,183,469

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	19,420,566	942,913	20,363,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	19,420,566	942,913	20,363,479
セグメント利益	2,506,387	267,957	2,774,345

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,774,345
全社費用(注)	△801,787
四半期連結損益計算書の営業利益	1,972,557

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。